

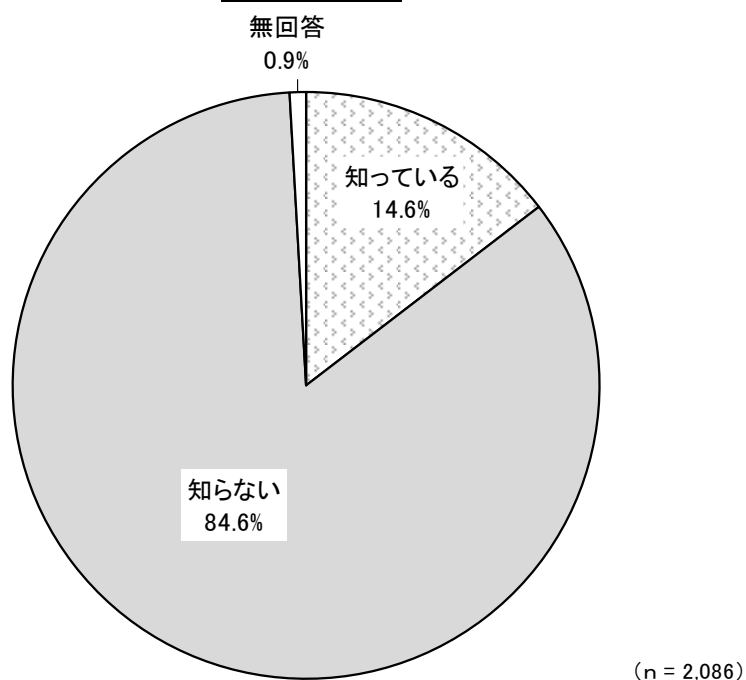
21. 気候危機

(1) 気候非常事態宣言の認知度

◎ 「知らない」が8割半ば

問54 あなたは、世田谷区が気候非常事態宣言を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロ等をめざしていることを知っていますか。(〇は1つ)

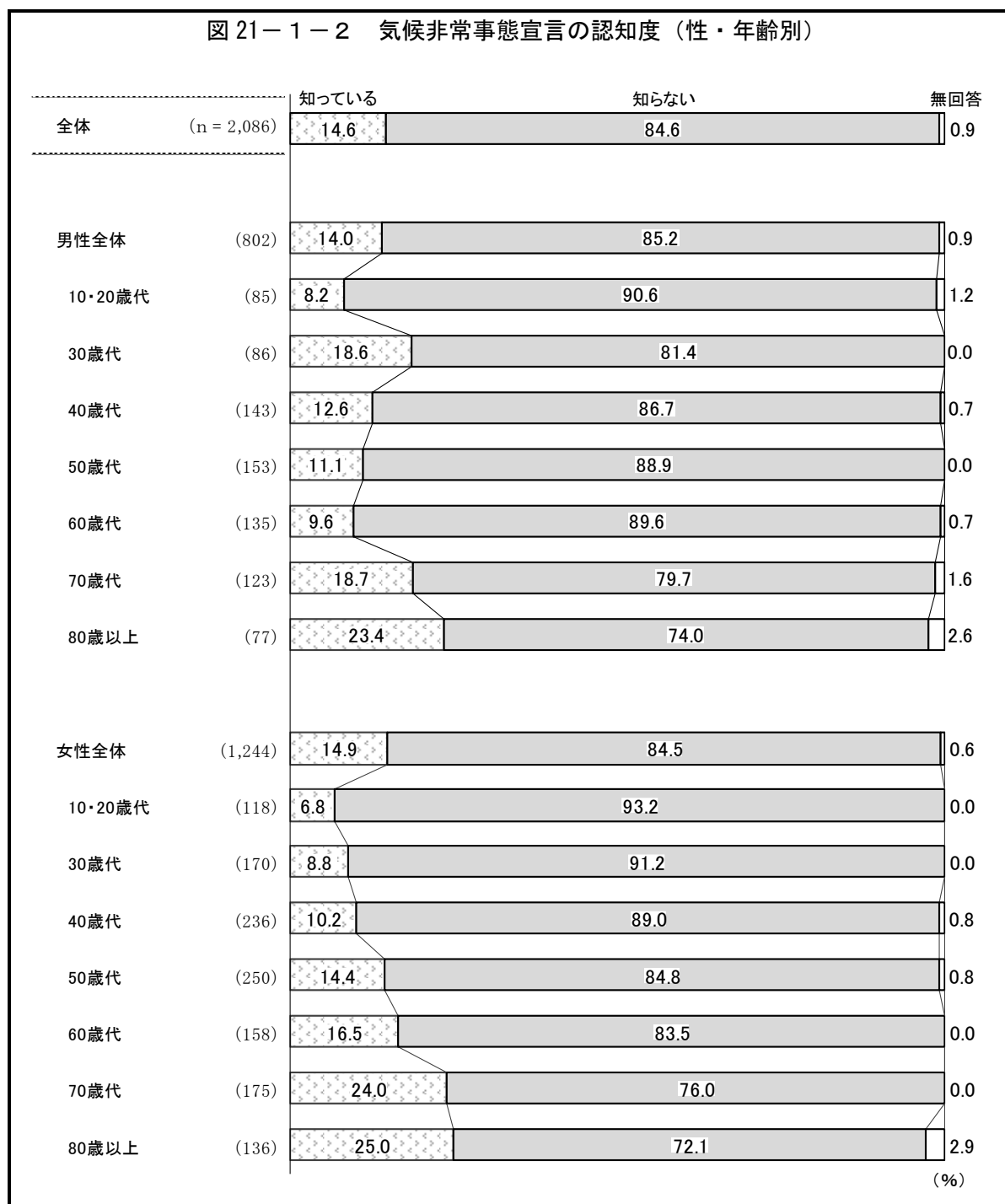
図 21-1-1



<調査結果>

気候非常事態宣言の認知度は、「知らない」(84.6%)が8割半ばと多数を占めている。「知っている」(14.6%)は1割半ばとなっている。(図 21-1-1)

図 21-1-2 気候非常事態宣言の認知度（性・年齢別）



<調査結果>

性・年齢別でみると、「知っている」は、女性の70歳代、80歳以上が2割半ば、男性の80歳以上で2割を超えている。「知らない」は、女性の10・20歳代、30歳代が9割を超え、男性の10・20歳代でほぼ9割、男性の60歳代で9割となっている。

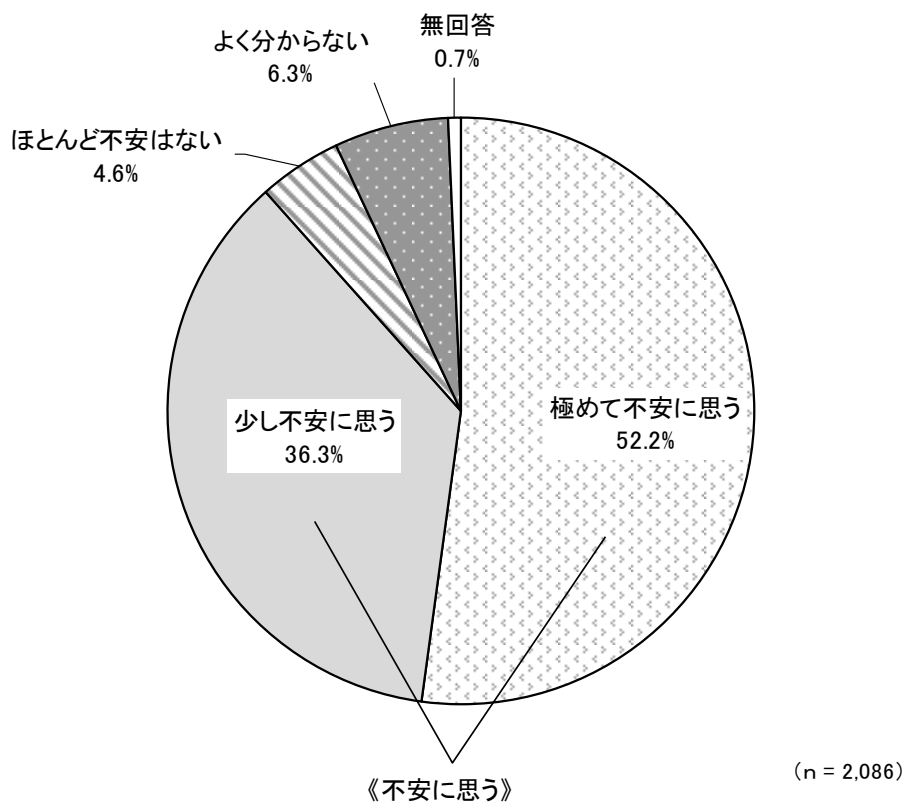
(図 21-1-2)

(2) 気候危機への不安感

◎ 《不安に思う》が9割近く

問55 あなたは、地球温暖化に伴う気候危機について、どのように感じていますか。
(○は1つ)

図 21-2-1

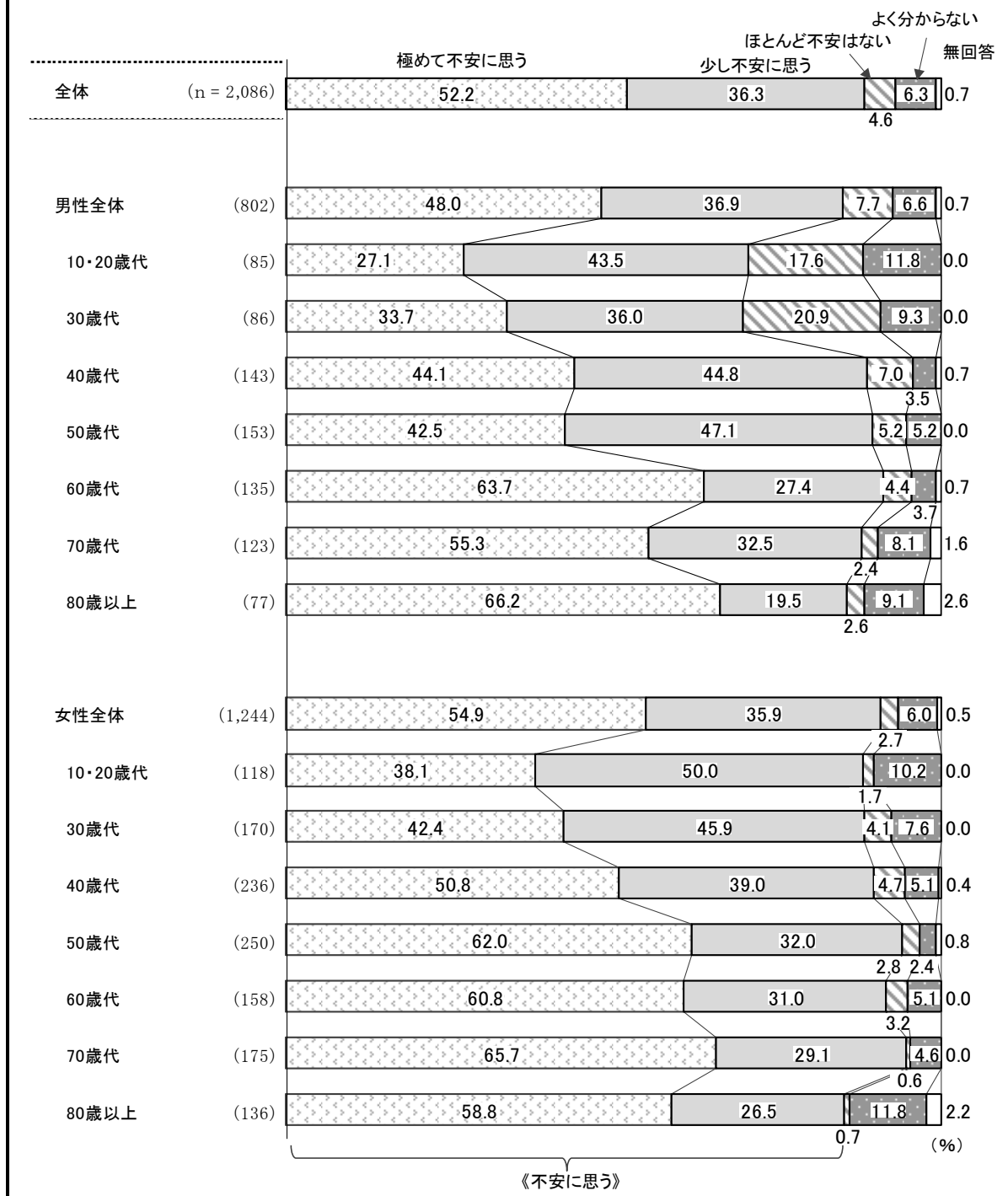


<調査結果>

気候危機への不安感を聞いたところ、「極めて不安に思う」(52.2%)が5割を超えて最も高く、「少し不安に思う」(36.3%)と合わせた《不安に思う》(88.5%)は9割近くとなっている。

(図 21-2-1)

図 21-2-2 気候危機への不安感（性・年齢別）



<調査結果>

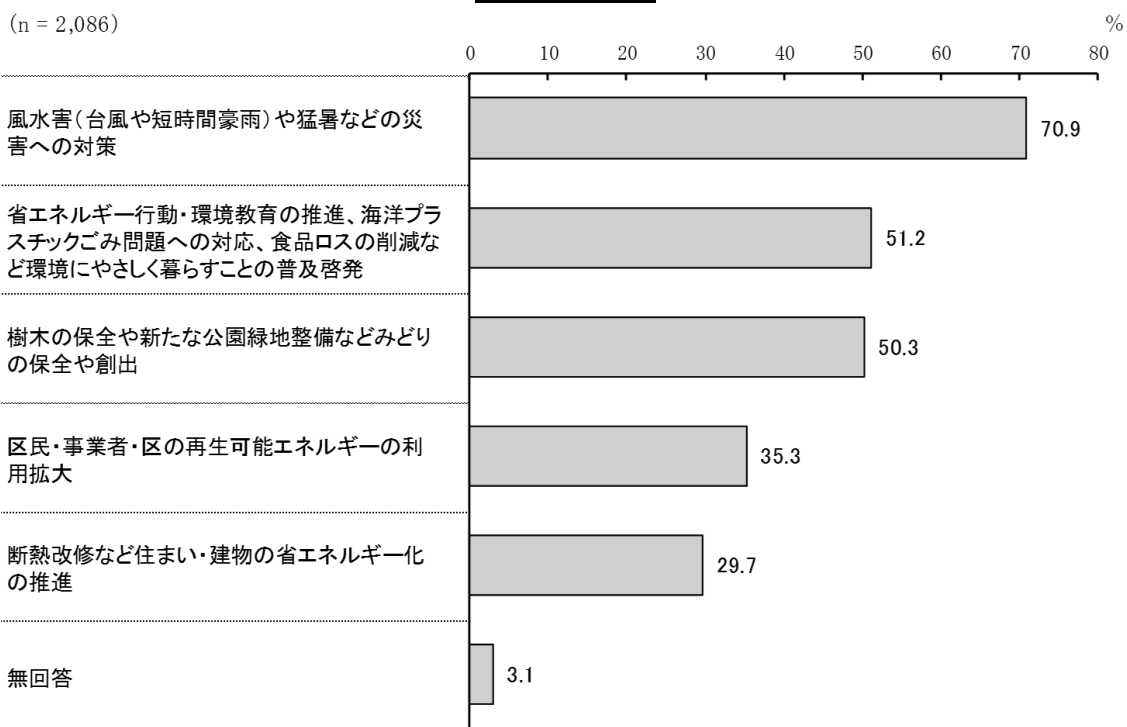
性・年齢別でみると、《不安に思う》は、女性の50歳代、70歳代が9割半ばと高く、60歳代の男女で9割を超えている。「ほとんど不安はない」は、男性の30歳代でほぼ2割、男性の10・20歳代で2割近くとなっている。(図 21-2-2)

(3) 重点的に取り組むべき気候危機への対策

◎「風水害や猛暑などの災害への対策」がほぼ7割

問56 気候危機への対策として、区として重点的に行ってほしい取り組みを選んでください。(〇はいくつでも)

図 21-3-1



<調査結果>

重点的に取り組むべき気候危機への対策について聞いたところ、「風水害（台風や短時間豪雨）や猛暑などの災害への対策」（70.9%）がほぼ7割と最も高く、「省エネルギー行動・環境教育の推進、海洋プラスチックごみ問題への対応、食品ロスの削減など環境にやさしく暮らすことの普及啓発」（51.2%）が5割を超え、「樹木の保全や新たな公園緑地整備などみどりの保全や創出」（50.3%）が5割などと続いている。（図 21-3-1）

表 21-3-1 重点的に取り組むべき気候危機への対策（性・年齢別）

(%)

区分	n	風水害（台風や短時間豪雨）や猛暑などの災害への対策	省エネルギー行動・環境教育の推進、海洋プラスチックごみ問題への対応、食品ロスの削減など環境にやさしく暮らすことの普及啓発	樹木の保全や新たな公園緑地整備などみどりの保全や創出	区民・事業者・区の再生可能エネルギーの利用拡大	断熱改修など住まい・建物の省エネルギー化の推進	無回答	
全体	2,086	70.9	51.2	50.3	35.3	29.7	3.1	
性・年齢別	男性全体	802	68.8	46.8	48.8	36.3	29.2	3.0
	10・20 歳代	85	64.7	40.0	41.2	32.9	21.2	4.7
	30 歳代	86	72.1	38.4	43.0	32.6	31.4	1.2
	40 歳代	143	72.7	42.7	46.9	44.1	33.6	0.7
	50 歳代	153	73.9	47.1	47.1	35.3	25.5	1.3
	60 歳代	135	74.8	45.2	53.3	39.3	34.8	3.0
	70 歳代	123	56.9	60.2	52.8	31.7	27.6	4.9
	80 歳以上	77	61.0	51.9	55.8	33.8	27.3	7.8
	女性全体	1,244	72.7	54.0	51.4	34.4	29.7	3.0
	10・20 歳代	118	66.9	43.2	61.9	36.4	29.7	3.4
	30 歳代	170	75.3	51.2	55.3	37.1	35.9	1.2
	40 歳代	236	77.5	49.6	46.6	29.2	28.8	1.7
	50 歳代	250	75.2	56.8	54.8	44.4	38.4	1.6
	60 歳代	158	69.6	51.9	49.4	33.5	28.5	3.8
	70 歳代	175	70.9	68.6	49.7	30.9	20.0	2.3
	80 歳以上	136	67.6	53.7	44.9	25.7	20.6	9.6

<調査結果>

性・年齢別でみると、「風水害（台風や短時間豪雨）や猛暑などの災害への対策」は女性の40歳代で8割近く、男性の60歳代、女性の30歳代と50歳代で7割半ばとなっている。「区民・事業者・区の再生可能エネルギーの利用拡大」は、男性の40歳代、女性の50歳代で4割半ばと高くなっている。（表 21-3-1）

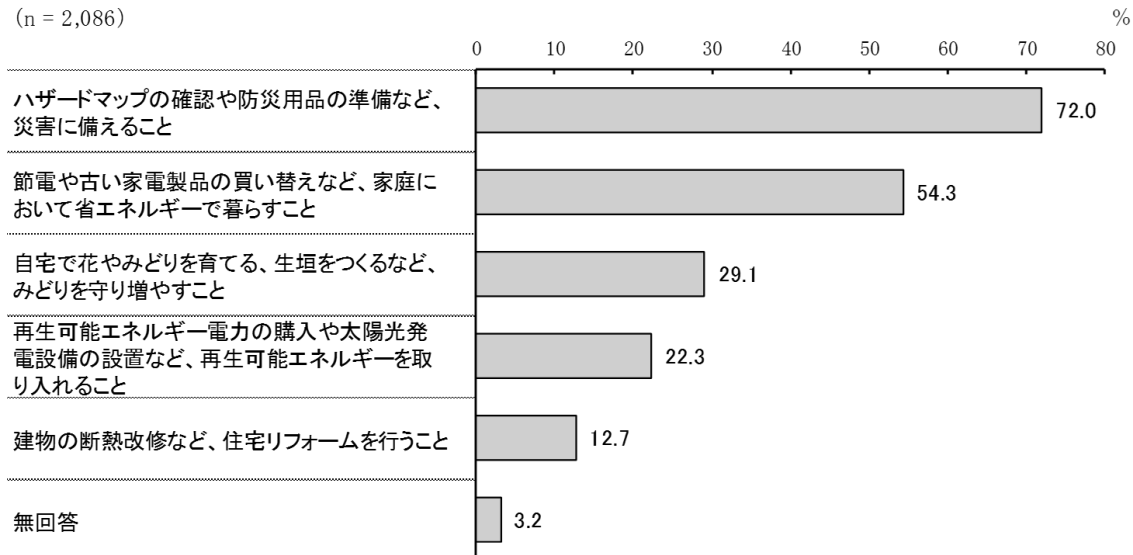
(4) 気候危機に対して自分ができること

◎「ハザードマップの確認や防災用品の準備など、災害に備えること」が7割を超えている

問57 気候危機の問題に対して、あなたにできることは何だと思えますか。
(〇はいくつでも)

図 21-4-1

(n = 2,086)



<調査結果>

気候危機に対して自分ができることについては、「ハザードマップの確認や防災用品の準備など、災害に備えること」(72.0%)が7割を超えて、最も高い。以下、「節電や古い家電製品の買い替えなど、家庭において省エネルギーで暮らすこと」(54.3%)、「自宅で花やみどりを育てる、生垣をつくるなど、みどりを守り増やすこと」(29.1%)、「再生可能エネルギー電力の購入や太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーを取り入れること」(22.3%)などと続いている。(図 21-4-1)

表 21-4-1 気候危機に対して自分ができること（性・年齢別）

(%)

区分	n	ハザードマップの確認や防災用品の準備など、災害に備えること	節電や古い家電製品の買い替えなど、家庭において省エネルギーで暮らすこと	自宅で花やみどりを育てる、生垣をつくるなど、みどりを守り増やすこと	再生可能エネルギー電力の購入や太陽光発電設備の設置など、再生可能エネルギーを取り入れること	建物の断熱改修など、住宅リフォームを行うこと	無回答	
全体	2,086	72.0	54.3	29.1	22.3	12.7	3.2	
性・年齢別	男性全体	802	69.1	50.2	28.1	24.9	15.1	3.0
	10・20 歳代	85	65.9	40.0	24.7	23.5	9.4	3.5
	30 歳代	86	65.1	38.4	20.9	23.3	17.4	2.3
	40 歳代	143	72.0	49.7	24.5	30.8	16.1	1.4
	50 歳代	153	75.2	51.6	22.9	25.5	13.1	2.0
	60 歳代	135	69.6	60.0	24.4	21.5	18.5	2.2
	70 歳代	123	67.5	56.9	39.0	21.1	16.3	4.1
	80 歳以上	77	61.0	45.5	45.5	28.6	13.0	7.8
	女性全体	1,244	74.8	56.9	29.8	20.4	11.1	3.2
	10・20 歳代	118	67.8	53.4	23.7	19.5	3.4	2.5
	30 歳代	170	82.9	51.8	27.6	25.9	11.8	0.6
	40 歳代	236	80.9	56.4	26.3	21.6	11.4	0.4
	50 歳代	250	80.8	60.8	29.6	24.8	15.2	2.4
	60 歳代	158	80.4	57.0	30.4	16.5	10.8	5.1
70 歳代	175	68.6	60.6	33.1	17.7	12.6	3.4	
80 歳以上	136	50.7	55.1	39.0	12.5	7.4	11.0	

<調査結果>

性・年齢別でみると、「ハザードマップの確認や防災用品の準備など、災害に備えること」は、男性全体（69.1%）よりも女性全体（74.8%）で割合が高く、女性の30歳代で8割を超え、女性の40歳代、50歳代でほぼ8割、女性の60歳代で8割となっている。

（表 21-4-1）